

美杉地域全体で「万羽鶴大作戦」を開始していると聞いて、お話を聞いてきました。



↑美杉地区
社会福祉協議会
日高会長

万羽鶴大作戦を始めたきっかけは？
新型コロナウイルス感染拡大により地域活動が自粛を余儀なくされ、外出できずに孤独を感じている人が多いのではないかと、また、心身の機能低下も心配。そこで、「自粛中も地域の繋がりを感じてほしい」と思い、津市社会福祉協議会美杉支部と相談してはじめました。

万羽鶴大作戦

-you are not alone-

前編

生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは
地域のみなさんとともに地域
での支え合いの仕組みづくり
に取り組んでいます。

令和3年
11月19日
Vol.20

活動のポイントは？

高齢化率 60%以上の美杉地域ではどうしても高齢者が中心となった活動になりがちですが、その中でも子どもから高齢者まで気軽に取り組めることは何かと考えました。折り鶴は、馴染みのある方が多いうえ、知らない方でも折り方の手順書を見れば割に簡単に折れます。身近な繋がりの中で折り方を教え合いっこができるのも良い点で、学校や施設、サロン等多くの方に好評いただいています。美杉総合支所の協力も頂き、住民の方にとって身近な地域の出張所に作成用の折り紙と回収箱を置いて頂くことができました。鶴を折ることで手先を使ったり、出張所まで歩いて取りにきたりすることで介護予防にもつながっています。



第2層生活支援コーディネーターの思い

美杉地域は、住民宅を訪ねると玄関に裁縫作品や伊勢型紙をはじめとした手芸品が並んでいる事が多いんです。会長から相談を受けた時にそれとが結びつき今回の活動を作る事が出来ました。普段から地域を訪問し、目を向けてきた成果だと思えます。

